

# フォシーガ錠 を 服用される方・ご家族の方へ

✓このお薬は **慢性心不全** の  
治療を目的に処方されています



- フォシーガ錠を服用する前に必ずお読みください。
- ご不明な点は処方医にご相談ください。

病院・医院・薬局名

製造販売元

アストラゼネカ株式会社

販売

小野薬品工業株式会社

TSPFXG5@A

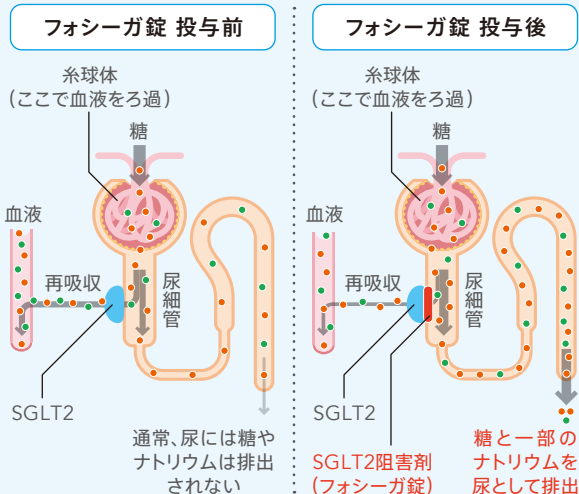
FXG-F042A

2025年1月作成

## フォシーガ錠について

フォシーガ錠 (SGLT2阻害剤) は、腎臓にはたらき、余分な糖やナトリウムを尿と一緒に排泄することで、水分量の調節やその他さまざまな作用によって、心臓や腎臓を保護し、慢性心不全を改善するお薬です。

● = 糖   ● = ナトリウム



## 服用にあたって

- 服用開始早期に一過性の腎機能の低下がみられることがあります。
- このお薬を服用している間は、定期的に腎臓の検査を受けてください。
- このお薬を服用していると、尿糖検査が陽性になることがあります。医療機関で尿検査を受ける際は、フォシーガ錠を服用していることを医師にお伝えください。
- 糖尿病の方へ  
一般的に糖尿病の方では発癌のリスクが高まると言われています。このお薬と発癌との因果関係は確立されていませんが、膀胱癌の治療中または既往のある方、フォシーガ錠の服用中に血尿を認めた方は、診察時、必ず医師に報告してください。



# 服用方法は？

フォシーガ錠10mgを1日1回、  
毎日決めた時間に飲みましょう。

- このお薬は、食事に関係なくいつでも飲むことができます。
- 医師の指示がある場合は、それに従ってください。
-  (10mg1錠) が処方されます。
- ※ (5mg2錠) の場合もあります。



## 【1型糖尿病の方へ】

- インスリンの量を調整するため、 (5mg1錠) から服用を開始します。
- インスリンは絶対に中断しないでください。

飲み忘れた場合、2回分(2日分)を  
一度に飲まないでください。

- 飲み忘れに気づき、次の服用時間まで半日以上ある場合は、できるだけ早く1回分を飲んでください。
- 次の服用時間まで半日未満の場合は、1回とばして、次の通常の服用時間に1回分を飲んでください。
- 誤って多く飲んだ場合は、医師または薬剤師にご相談ください。

次の状態の場合には、  
次の服用の前に、ただちに主治医に  
連絡し、指示に従ってください。

- 熱がある
- 下痢・おう吐などがある
- 食欲がない、食事が十分とれない



# 水分補給について

このお薬は、**血糖値が高いほど尿に糖が多く出て尿量が増えるため、特に糖尿病の方には脱水症状があらわれることがあります。**症状があらわれた場合は、医師にご相談ください。

## 脱水による症状



のどが渇く



めまいがする



疲れやすい



食欲がない など

## 水分補給時の注意点

- 水分をとりすぎると心不全が悪化することがありますので、医師の指示に従ってください。
- 特に糖尿病の方は、尿量が増える可能性があるため、医師の指示に従ってください。
- アルコール摂取は水分補給にはなりません。



## 特に注意が必要な方

- 糖尿病の方（血糖マネジメントが極めて不良な方）

（尿量が増える可能性があるため、医師の指示に従ってください。  
糖分を含む清涼飲料水での水分補給は避けてください）

- 高齢の方
- 認知症などで、飲水・食事などの介助が必要な方
- 腎機能が低下している方  
（水分バランスを保つ機能が低下していることがありますので、  
医師の指示に従ってください）

- 利尿剤を服用している方
- 暑い中で作業される方  
（農作業、スポーツ〔指導を含む〕など）
- 飲酒される方  
（飲酒は医師の指示に従ってください）

## 特に注意が必要なとき

- 体調がすぐれないとき（発熱、下痢、おう吐などがある）
- 食事・飲み物がとれないとき

## 服用中に気をつけるべきことは？

### 尿路の感染症(尿道炎、膀胱炎) 性器の感染症(膣カンジダ症など)

- 排尿時の痛み・灼熱感
- 陰部のかゆみ・痛み
- トイレに近い など

女性の場合  
おりもののにおいが  
強くなる、  
色が変わる など

日頃から次のことに  
気をつけてください。

- トイレを我慢しないようにしましょう。
- 排尿・排便の後は清潔を保つようにしましょう。

特に注意が必要な方

- 糖尿病の方

このお薬の服用中に、次のような症状が  
あらわれた場合は、医師にご相談ください。



下記の症状を伴う場合は、ただちに医療機関  
を受診してください。

- 寒気、発熱
- 脇腹・背中の痛み
- 関節・筋肉の痛み
- 陰部の圧痛・赤み・腫れなどがあり高熱を伴う場合 など

尿路・性器感染症の治療が遅れると、腎盂腎炎<sup>じん う じん えん</sup>  
／会陰部の壊死性筋膜炎(フルニエ壊疽)<sup>え し せい きん まく えん</sup>、  
敗血症<sup>はい けつ しょう</sup>などの重篤な感染症に至ることが  
あります。

## 服用中に気をつけるべきことは？

### 低血糖症状



- 手足のふるえ、冷や汗、顔が蒼白い、動悸
  - 疲れやすい、不安感など
- 低血糖症状は個人差があります。



このお薬の服用中に、次のような症状があらわれた場合は、医師にご相談ください。

### 特に注意が必要な方

- 糖尿病の方

### 低血糖症状があらわれた場合は？

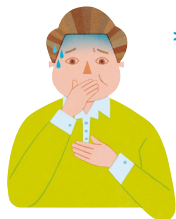
- 糖質を含む食品や砂糖をすぐにとりましょう  
例) ブドウ糖や砂糖を含む飲料水など
- $\alpha$ -グルコシダーゼ阻害剤を併用している場合は、砂糖ではなく、ブドウ糖をとってください。それでも回復がみられない場合は、**早急**に医師にご相談ください。

低血糖症状があらわれたことを診察時、医師に必ず報告してください。また、自分で対応ができない場合に備え、低血糖についての注意は、ご家族やまわりの方にもお知らせください。

# 服用中に気をつけるべきことは？

## ケトアシドーシス\*

- 吐き気、おう吐、  
食欲がない
- 腹痛
- 激しいのどの渇き
- からだがだるい
- 息切れ
- 意識の低下



\* 脂肪酸がエネルギー源として使われるときに、分解物であるケトン体という物質が血液中に溜まると、血液が酸性に傾きます。その状態を「ケトアシドーシス」といいます。

ケトアシドーシスは通常、高血糖がみられますが、このお薬を服用中は、高血糖がみられなくても、これらの症状があらわれることがあります。上記の症状があらわれた場合は、早急に医療機関を受診し、ケトン体を測定してもらってください。

このお薬の服用中に、次のような症状があらわれた場合は、医師にご相談ください。

## 特に注意が必要な方

### ●糖尿病(特に1型糖尿病)の方

#### 【1型糖尿病の方へ】

別途お渡ししている「ケトアシドーシスのリスクを最小限におさえるために」をよく読んでください。また「携帯カード」を必ず持ち歩いてください。

## 特に注意が必要なとき

- インスリン製剤を打ち忘れたとき、減量・中止したとき  
1型糖尿病の方は、インスリンは絶対に中断しないでください。
- 過度な糖質摂取制限(低炭水化物ダイエットなど)を行っているとき  
ダイエットなどを行う場合は医師の指示に従い、自己判断で過度な糖質摂取制限を行わないでください。
- 飲酒したとき ●過度な運動を行ったとき
- 熱がある、下痢・おう吐などがある、  
食事がとれない場合



## MEMO

```
date      .      .
```

[illegible]

## MEMO

```
date      .      .
```

[illegible]